



校訓：「感謝」「勤勉」「鍛錬」

商業科通信

2025年3月26日(水)
秋田商業高等学校
商業科
文責：柏谷亜紀子
大正9年開校
創立105年目

成長を感じる春にしてみませんか？

令和6年度もまもなく終わります。皆さんにとってどのような一年だったでしょうか？

日々の授業だけでなく、検定試験に挑戦したり、学校行事や部活動など休日もなく様々なことに挑戦する姿がありました。「知らなかったこと、わからないことがわかるようになった」「できなかったことができるようになった」ときの喜びや心の充実感をぜひ忘れずに来年度も頑張りましょう。

年齢に関係なく、日々成長することはとても大切なことです。様々な学習や経験を通してより広い視野で物事を考えられるようになることが成長につながります。もし、何も成長しなかったとしたら、日本の四季の移り変わりを感じることや周囲の人との関わり方など変化に気づくことができない人生になってしまい、とても味気ない退屈な人生になってしまうのではないのでしょうか。

北国秋田も、桜の開花宣言がいつになるか待ち遠しい時期になりました。大きく成長した皆さんは毎年見ている桜であっても去年とは違う感情が生まれてくると思います。静かに自分の成長を感じる春を大切にしてください。



企業に必要とされる人になるために必要なこと

経団連のアンケートによると、企業が選考にあたって特に重視したことは右のとおりになります。

1位の「コミュニケーション能力」は13年連続1位、2位の主体性も7年連続であり、これらの力はどのような時代であっても重視される能力で、誰もが身に付けておかなければならない能力だと言えます。

高校卒業後、皆さんは社会人としてのコミュニケーション能力が求められます。気の合う人、同じ部活の人と仲良くすることがコミュニケーション能力ではありません。世代が違う人、考えが違う人と良好な関係を築く力、意思疎通できる力が必要になります。普段の仲間内だけで完結せず、様々な人と関わりながら視野を広げてください。

企業が選考にあたって重視した点	
1位	コミュニケーション能力(87.0%)
2位	主体性(63.8%)
3位	協調性(49.1%)
4位	チャレンジ精神(46.0%)

商業科活動紹介

～『サービス創造大賞2024』高校賞3名受賞～

千葉商科大学サービス創造学部主催の『サービス創造大賞2024』で2A伊藤結愛さん、2B石田小春さん、2F相原莉子さんの3名が高校賞に受賞しました。

これは、全国の高校生を対象に、企業がビジネスとして解決に乗り出したくなるような、多くの人が共感する「困りごと」のエピソードを募集したものです。「サービス創造の種を見つけよう」という課題のもと、本校からは「商品開発と流通」の授業の一環として、全員が応募しました。

日頃勉強したビジネスの知識をもとに、日常の困りごとに目を向け(=問題発見)、それを解決する方法を考えることで、自分だけでなく、周りの人ひいては社会全体の困りごとの解決につながっていきます。(=問題解決・社会貢献)

「学んだことを活かしてより良い社会を創る」ということは、商業高校の生徒だけでなく広く高校生全体に求められています。「商品開発と流通」の授業以外でもぜひ挑戦してみてください。

【受賞内容紹介】

名前	テーマ(公式サポーター企業)
2A 伊藤結愛	下校途中の汗汚れを解決する、速乾性にすぐれ汗が目立たないように加工された学生服の開発(サマンサタバサ)
2B 石田小春	雪かきに悩む高齢者のため、雪かきサービスをしてほしい。(ALSOK)
2F 相原莉子	既存の防犯サービスに空き家の管理という付随機能を付けてほしい(ALSOK)

※詳細は千葉商科大学WEBサイトに掲載されています。

商業科授業紹介

プログラミング(2年情報コース)

2月26日(水)株式会社ヒューマンウェイブ様からIT業界の事業者と進路についてご講演いただきました。ICTの普及によりIT業界はライフラインを担う重要な役割を持つ中で、日頃どのような仕事をしているか理解を深めることができました。



商品開発と流通(2年流通経済コース)

3月19日(水)畑がない農家 柿木崇誌様から民家の庭や畑に放置されている柿のブランディングについてご講演いただきました。放置されている物に手を加えて「新たな価値」を生み出すことで、地域課題の解決と地域資源の有効活用につなげている活動について理解を深め、失敗を恐れず挑戦し続けることの大切さを知ることができました。